

第3章 河川整備の実施に関する事項

第1節 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

1. 島松川

河川工事の目的

JR 千歳線(2条7号区間終点)より 2.10km 上流地点から行在橋までの区間において、千歳川や島松川下流の直轄改修区間の河道状況を踏まえ、沿川地域の市街地・農地への洪水被害の防止・軽減を目的として計画流量 150m³/s 規模の河川整備を進めます。

この河川工事を行う際には、河畔林及び魚類(エゾトミヨなど)の生息環境の保全に配慮するとともに、広恵橋下流左岸で確認されているカワセミ営巣箇所の保全に努めます。

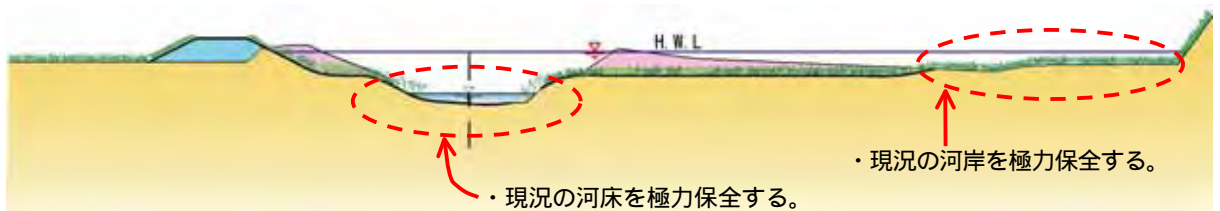
また整備を行うに当たり、必要に応じて関係機関と協議を行うこととします。

施行の場所

JR 千歳線(2条7号区間終点)より 2.10km 上流地点から行在橋までの 2.20km の区間

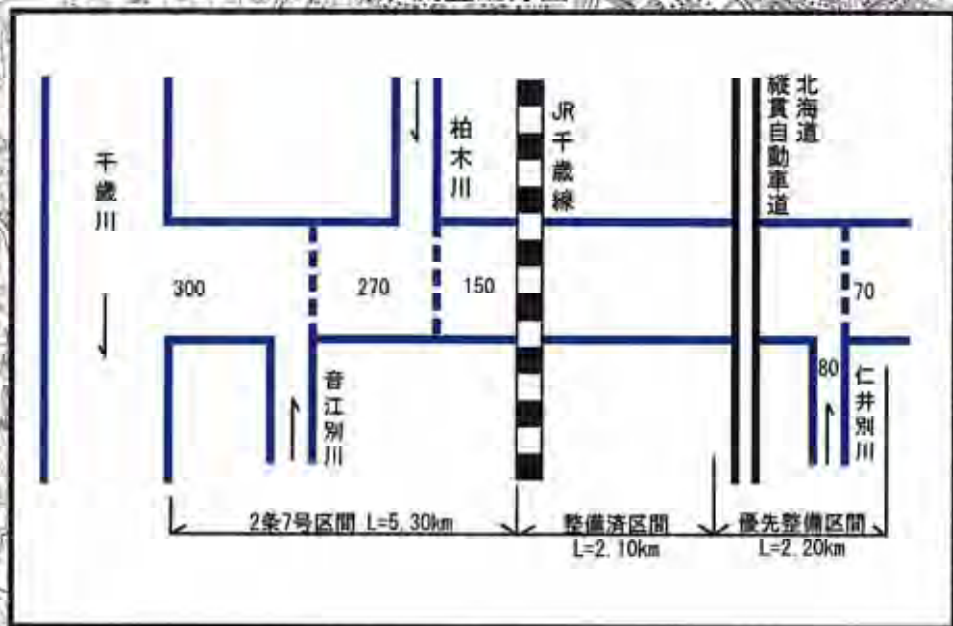
河川工事の種類

- ・ 河道掘削
- ・ 堤防の新設
- ・ 護岸

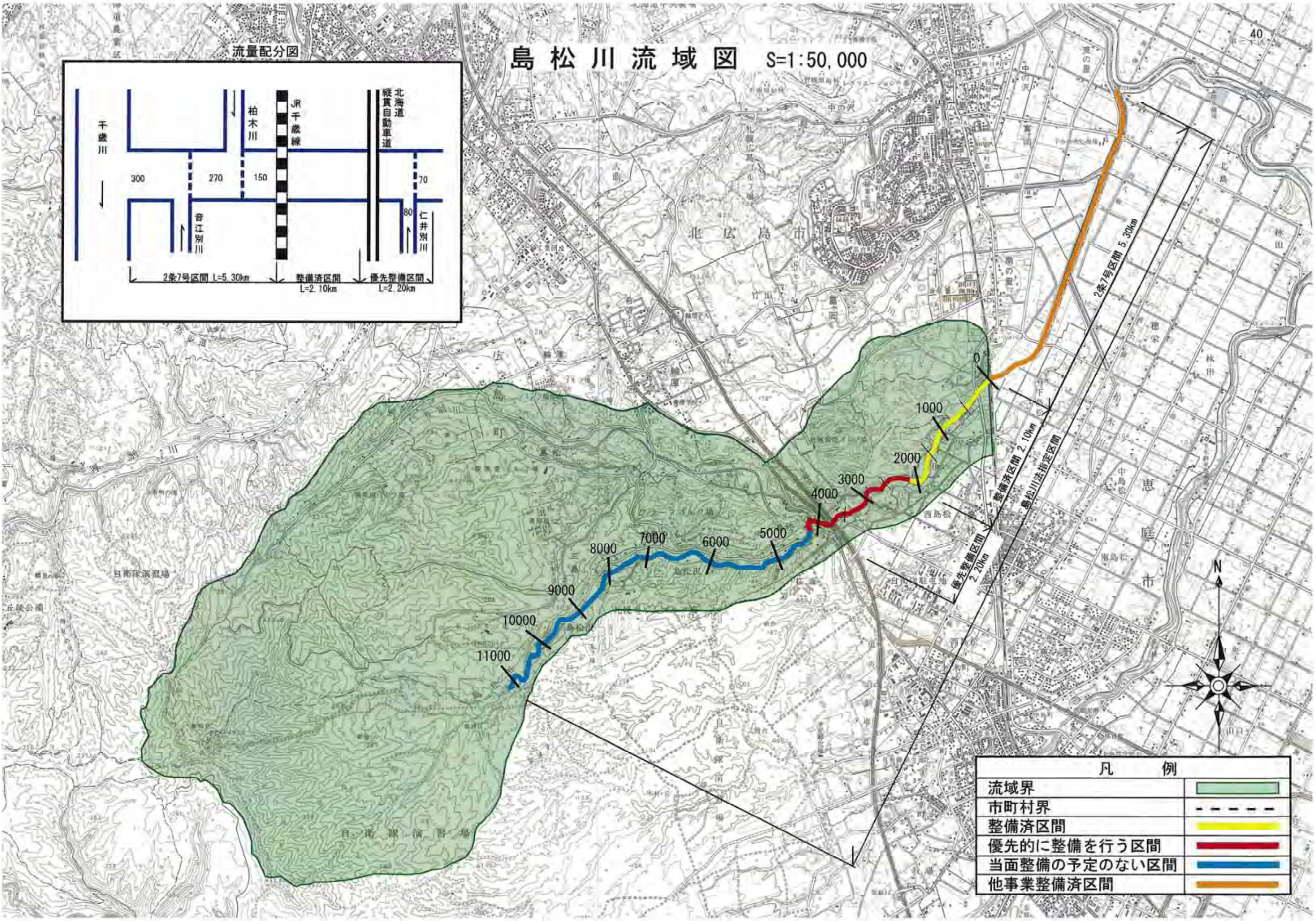


標準断面図における形状についてイメージを示したものである。

流量配分図

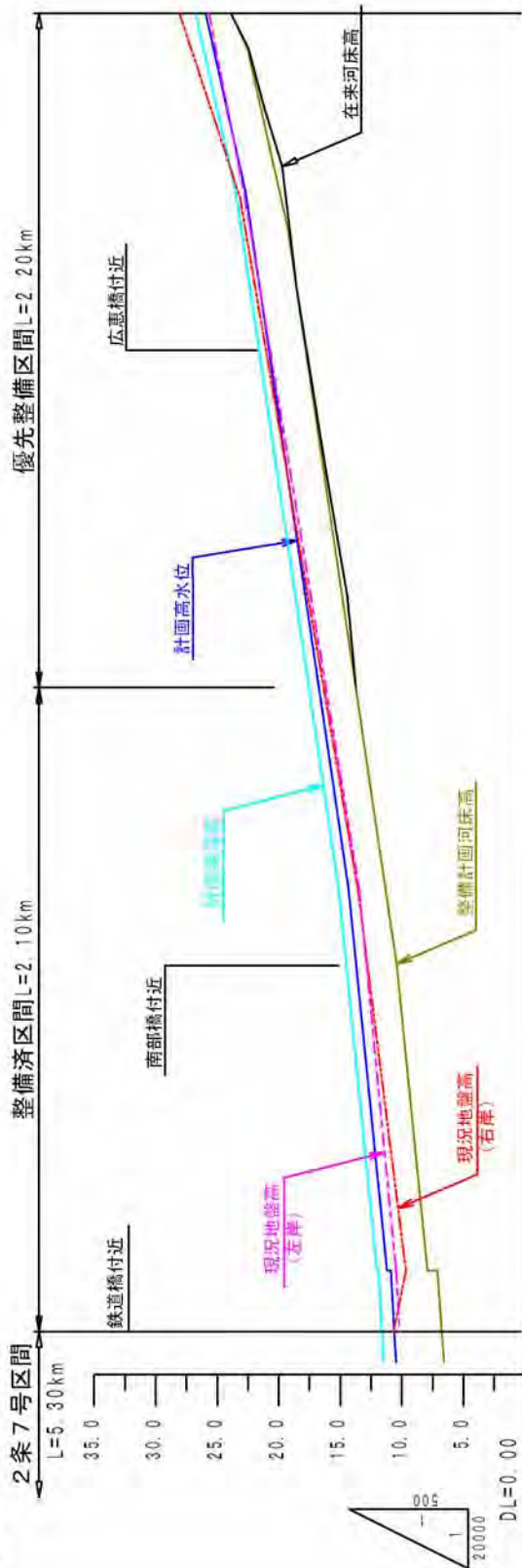


島松川流域図 S=1:50,000



凡 例	
流域界	
市町村界	
整備済区間	
優先的に整備を行う区間	
当面整備の予定のない区間	
他事業整備済区間	

島松川縦断面図



計画築堤高	17.00	16.00	15.00	14.00	13.00	12.00	11.00	10.00	9.00	8.00	7.00	6.00	5.00	4.00	3.00	2.00	1.00	0.00
計画高水位	27.00	26.00	25.00	24.00	23.00	22.00	21.00	20.00	19.00	18.00	17.00	16.00	15.00	14.00	13.00	12.00	11.00	10.00
計画高水勾配	1:775	1:775	1:775	1:775	1:775	1:775	1:775	1:775	1:775	1:775	1:775	1:775	1:775	1:775	1:775	1:775	1:775	1:775
整備計画河床高	12.00	11.00	10.00	9.00	8.00	7.00	6.00	5.00	4.00	3.00	2.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
現況地盤高(右岸)	12.00	11.00	10.00	9.00	8.00	7.00	6.00	5.00	4.00	3.00	2.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
現況地盤高(左岸)	12.00	11.00	10.00	9.00	8.00	7.00	6.00	5.00	4.00	3.00	2.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
在来河床高	12.00	11.00	10.00	9.00	8.00	7.00	6.00	5.00	4.00	3.00	2.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
測点 (km)	0.00	0.25	0.50	0.75	1.00	1.25	1.50	1.75	2.00	2.25	2.50	2.75	3.00	3.25	3.50	3.75	4.00	4.25

※ 2条7号区間は、国土交通大臣が工事を施工し、都道府県知事が管理する区間

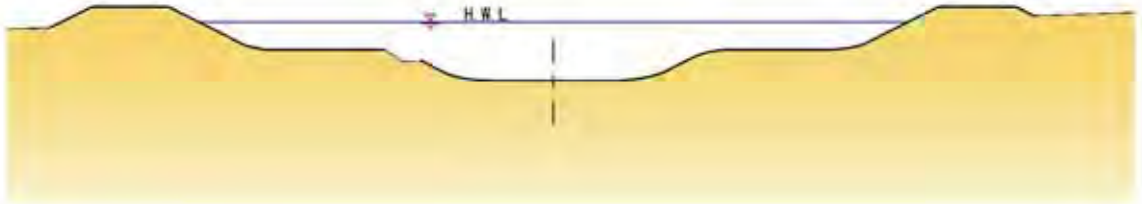
※ 整備計画河床高：整備計画における河川工事や施設の維持管理を行う際の参考値

※ 標高値：測地2000対応（世界測地系）

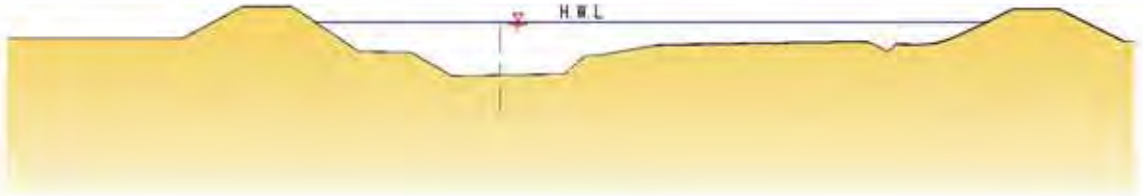
島松川横断面
縮尺 1:400

凡 例	
	掘削
	堤防整備
	実施断面
	現況断面

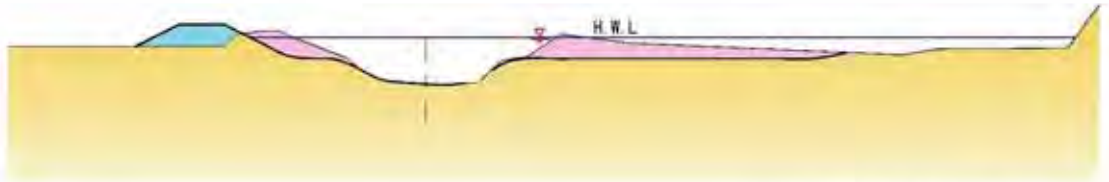
鉄道橋付近
2・7区間終点から0.0km付近



南部橋付近
2・7区間終点から1.2km付近



広恵橋付近
2・7区間終点から3.2km付近



※ H.W.L.：計画高水位

2. 柏木川

河川工事の目的

西6線柏木橋(旧2条7号区間終点)より6.00km上流地点から北海道縦貫自動車道までの区間において、島松川や柏木川下流の直轄改修済み区間の河道状況を踏まえ、沿川地域の市街地・農地への洪水被害の防止・軽減を目的として計画流量100m³/s規模の河川整備を進めます。

この河川工事を行う際には、河畔林の保全に配慮し、魚類(イバラトミヨなど)の生息に適した河川環境の再生に努めます。また、環境学習の場の提供や親水性の創出に努めます。

遊水地においては、在来種からなる現存植生の回復に努め、湿地性植物、河畔林、湧水箇所や魚類(サクラマス(ヤマメ)など)の生息環境の保全に配慮します。

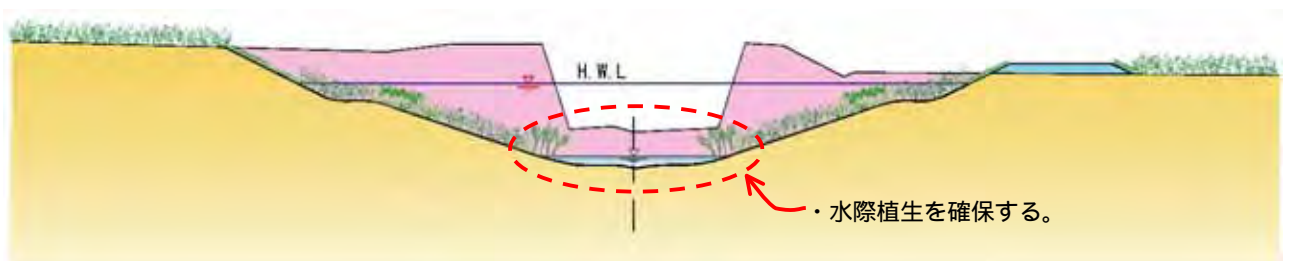
また整備を行うに当たり、必要に応じて関係機関と協議を行うこととします。

施行の場所

西6線柏木橋(旧2条7号区間終点)より6.00km上流地点から北海道縦貫自動車道までの1.70kmの区間および4.90kmから5.40kmの河道の左岸。

河川工事の種類

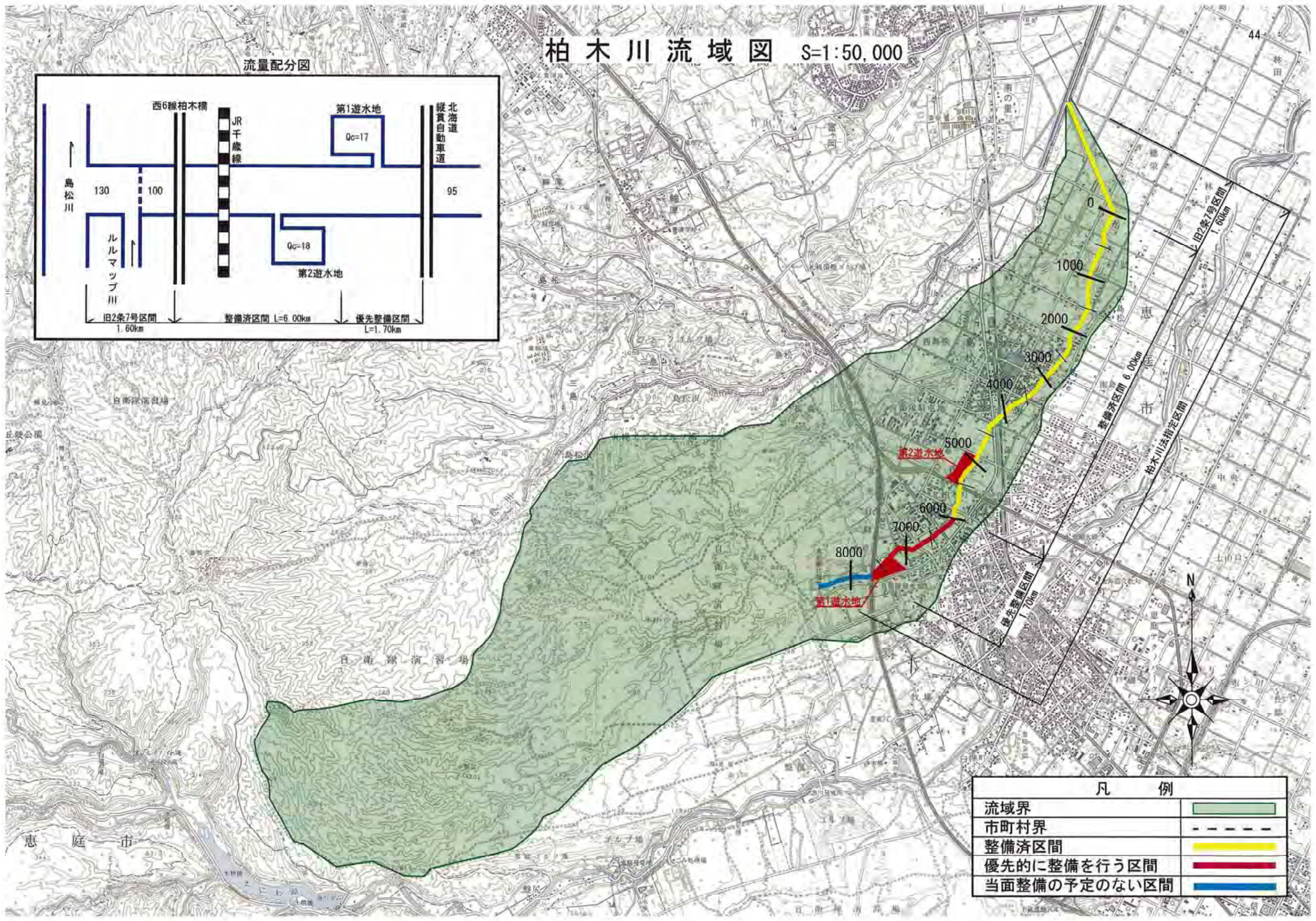
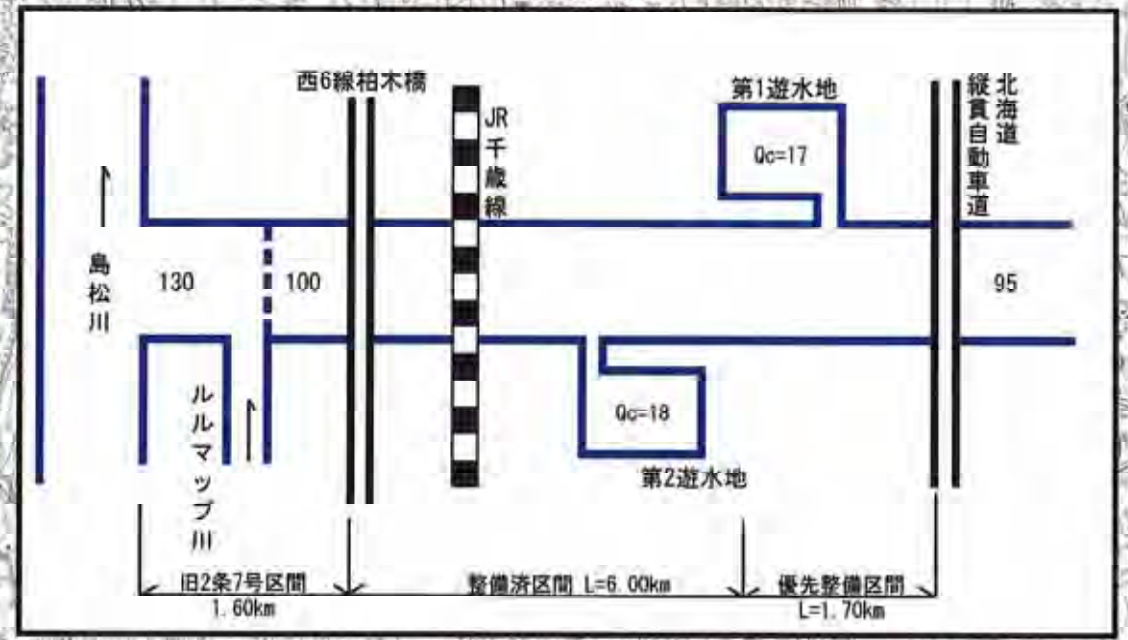
- ・ 河道掘削
- ・ 堤防の新設
- ・ 護岸
- ・ 遊水地



標準断面図における形状についてイメージを示したものである。





柏木川流域図 S=1:50,000

流量配分図

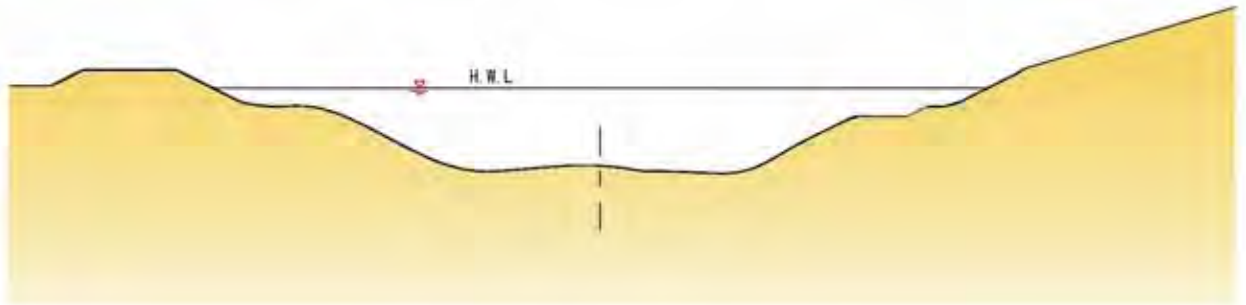


凡 例	
流域界	
市町村界	
整備済区間	
優先的に整備を行う区間	
当面整備の予定のない区間	

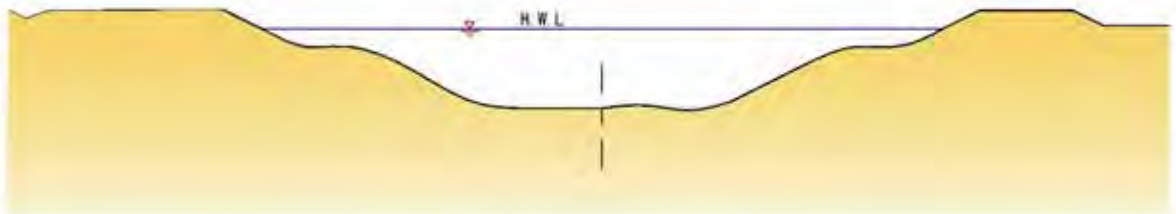
柏木川横断面
縮尺 1:200

凡 例	
	掘削
	堤防整備
	実施断面
	現況断面

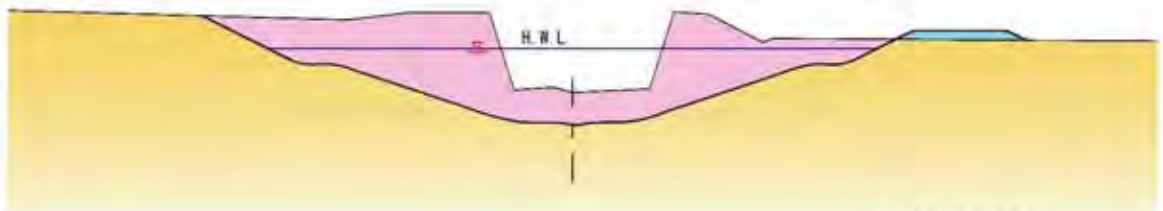
南19号柏木川橋付近
旧2・7区間終点から2.4km付近



柏栄橋付近
旧2・7区間終点から3.4km付近



柏木橋付近
旧2・7区間終点から6.2km付近



※ H.W.L.：計画高水位

柏木川遊水地概要図

第2遊水地 (SP4900～SP5400付近)

平面図



第1遊水地 (SP7300～SP7600付近)

平面図



3. 長都川

河川工事の目的

第2長都橋より1.3km上流地点からJR千歳線までの区間において、千歳川や長都川下流の直轄改修済み区間の河道状況を踏まえ、沿川地域の市街地・農地への洪水被害の防止・軽減を目的として計画流量 $40\text{m}^3/\text{s}$ 規模の河川整備を進めます。

この河川工事を行う際には、河畔林及び魚類(サクラマス(ヤマメ)など)の生息環境の保全に配慮するとともに、区画整理事業との調整を図り、親水空間の創出に努めます。

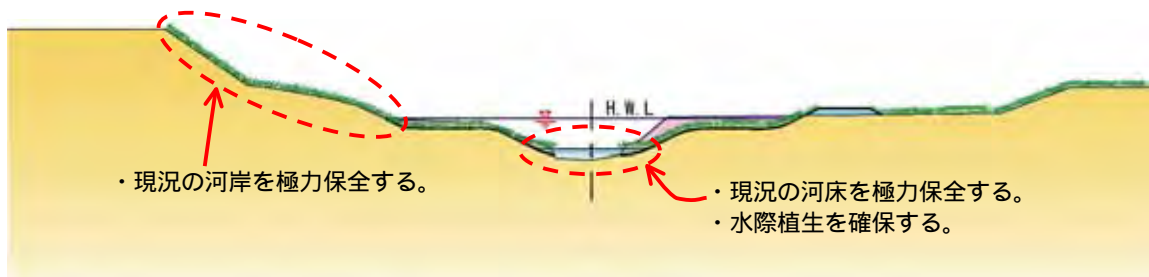
また整備を行うに当たり、必要に応じて関係機関と協議を行うこととします。

施行の場所

第2長都橋より1.3km上流地点からJR千歳線までの1.10kmの区間

河川工事の種類

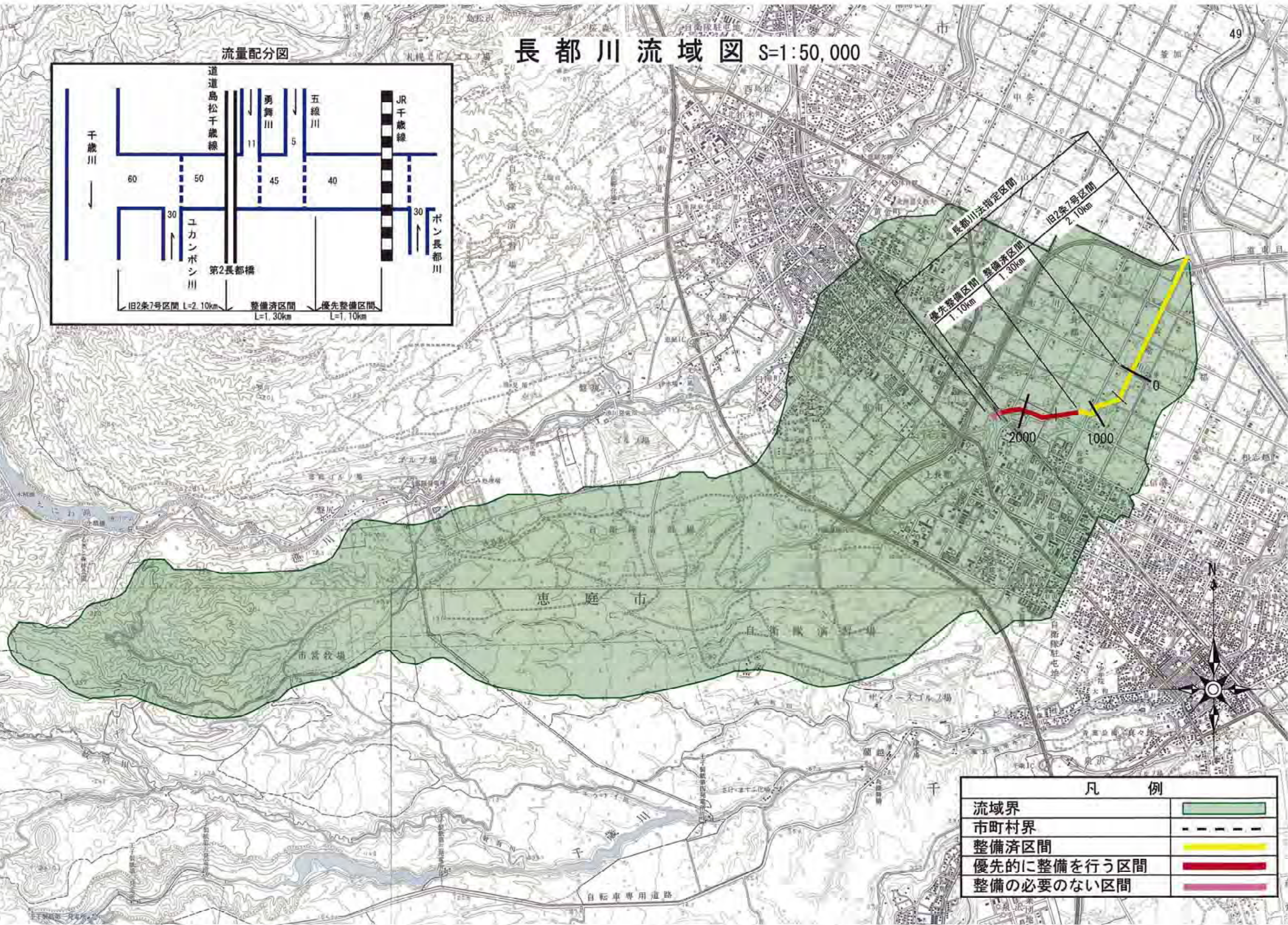
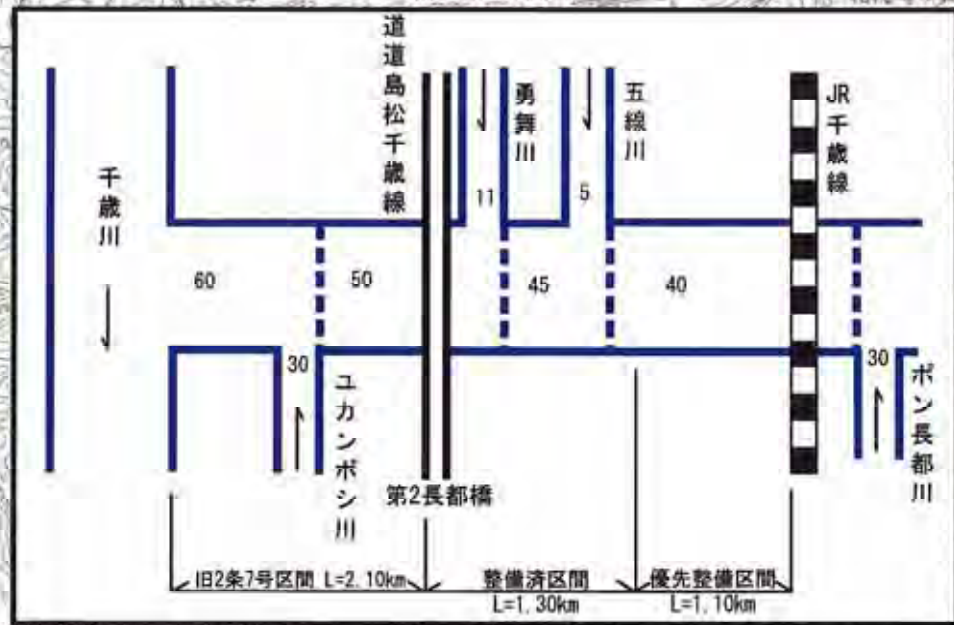
- ・ 河道掘削
- ・ 堤防の新設
- ・ 護岸



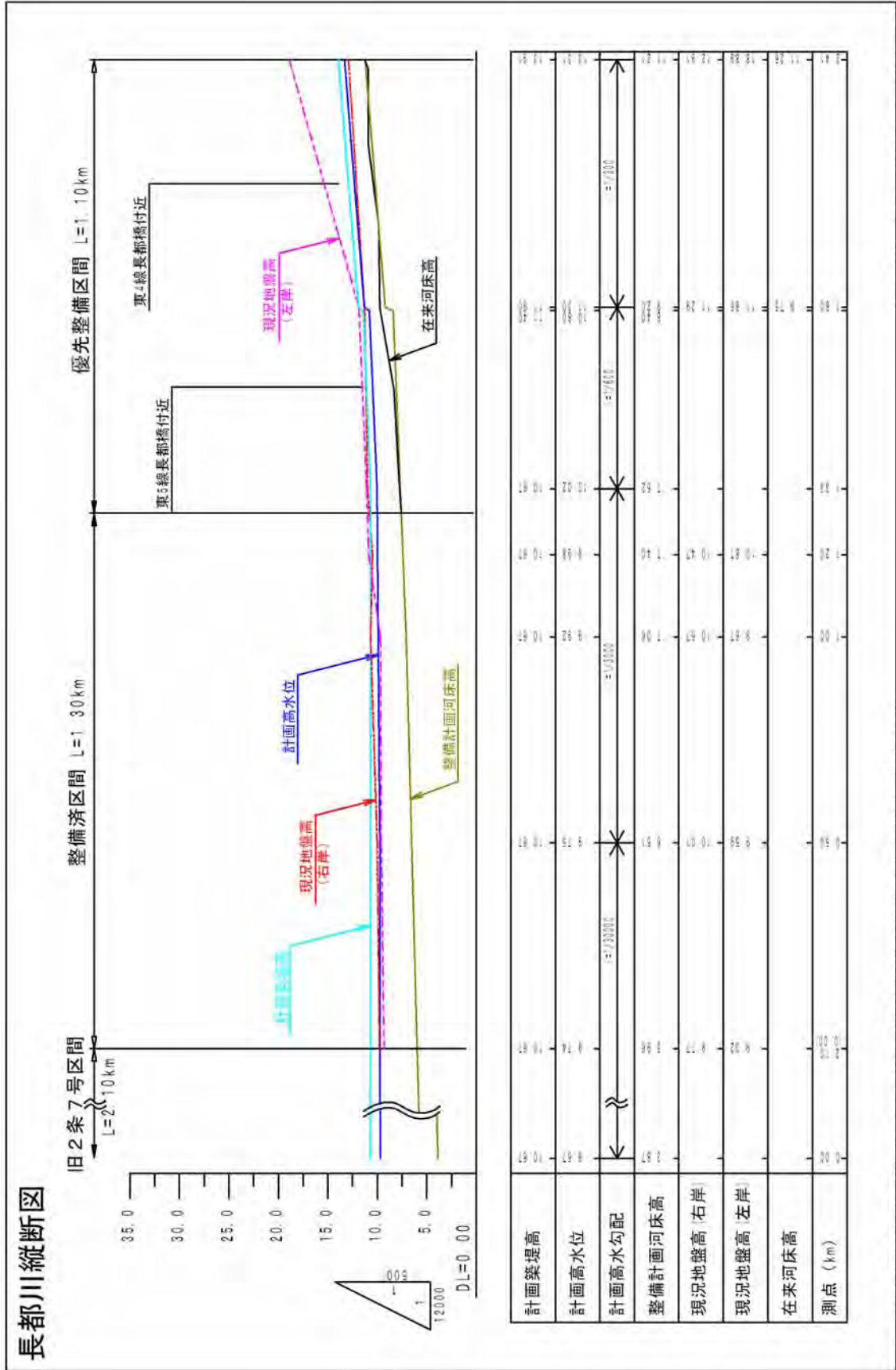
標準断面図における形状についてイメージを示したものである。

長都川流域図 S=1:50,000

流量配分図



凡 例	
流域界	
市町村界	
整備済区間	
優先的に整備を行う区間	
整備の必要のない区間	

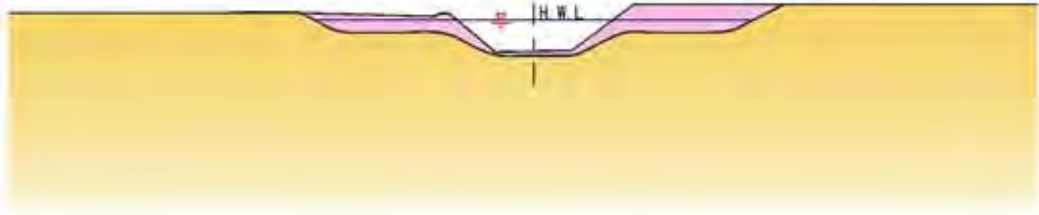


※ 整備計画河床高：整備計画における河川工事や施設の維持管理を行う際の参考値
 ※ 標高値：測地2000対応（世界測地系）

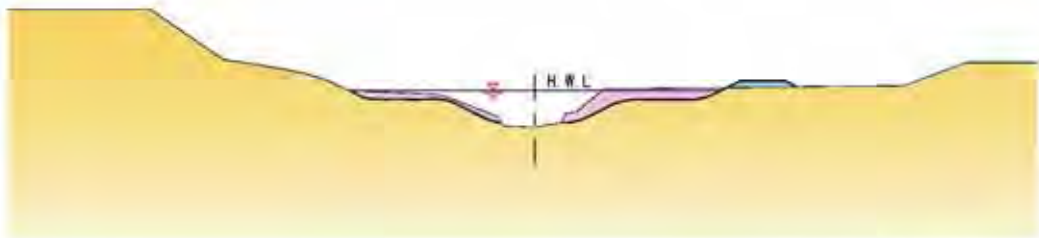
長都川横断面
縮尺 1:400

凡 例	
	堤削
	堤防整備
	実施断面
	現況断面

東5線長都橋付近
旧2・7区間終点から1.6km付近



東4線長都橋付近
旧2・7区間終点から2.1km付近



● H.W.L.: 計画高水位

4.ユカンボシ川

河川工事の目的

長都川合流点より 4.20km 上流地点から道道江別恵庭線までの区間において、長都川の河道状況を踏まえ、沿川地域の市街地・農地への洪水被害の防止・軽減を目的として計画流量 $25\text{m}^3/\text{s}$ 規模の河川整備を進めます。

この河川工事を行う際には、河畔林及び魚類(フクドジョウなど)の生息環境の保全に配慮し、環境学習の場の提供など、親水性の創出に努めます。

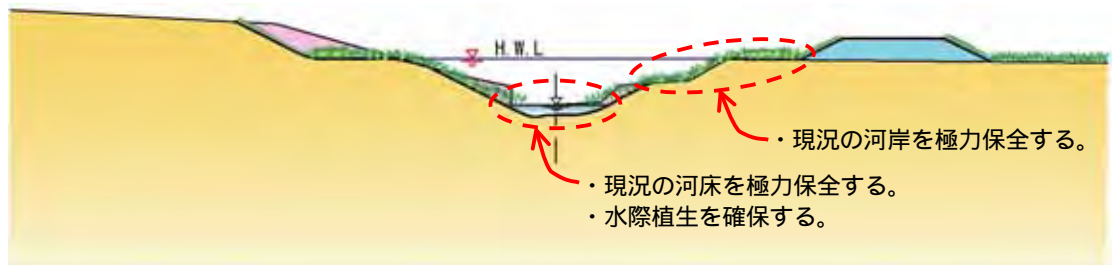
また整備を行うに当たり、必要に応じて関係機関と協議を行うこととします。

施行の場所

長都川合流点より 4.20km 上流地点から道道江別恵庭線までの 1.118km の区間

河川工事の種類

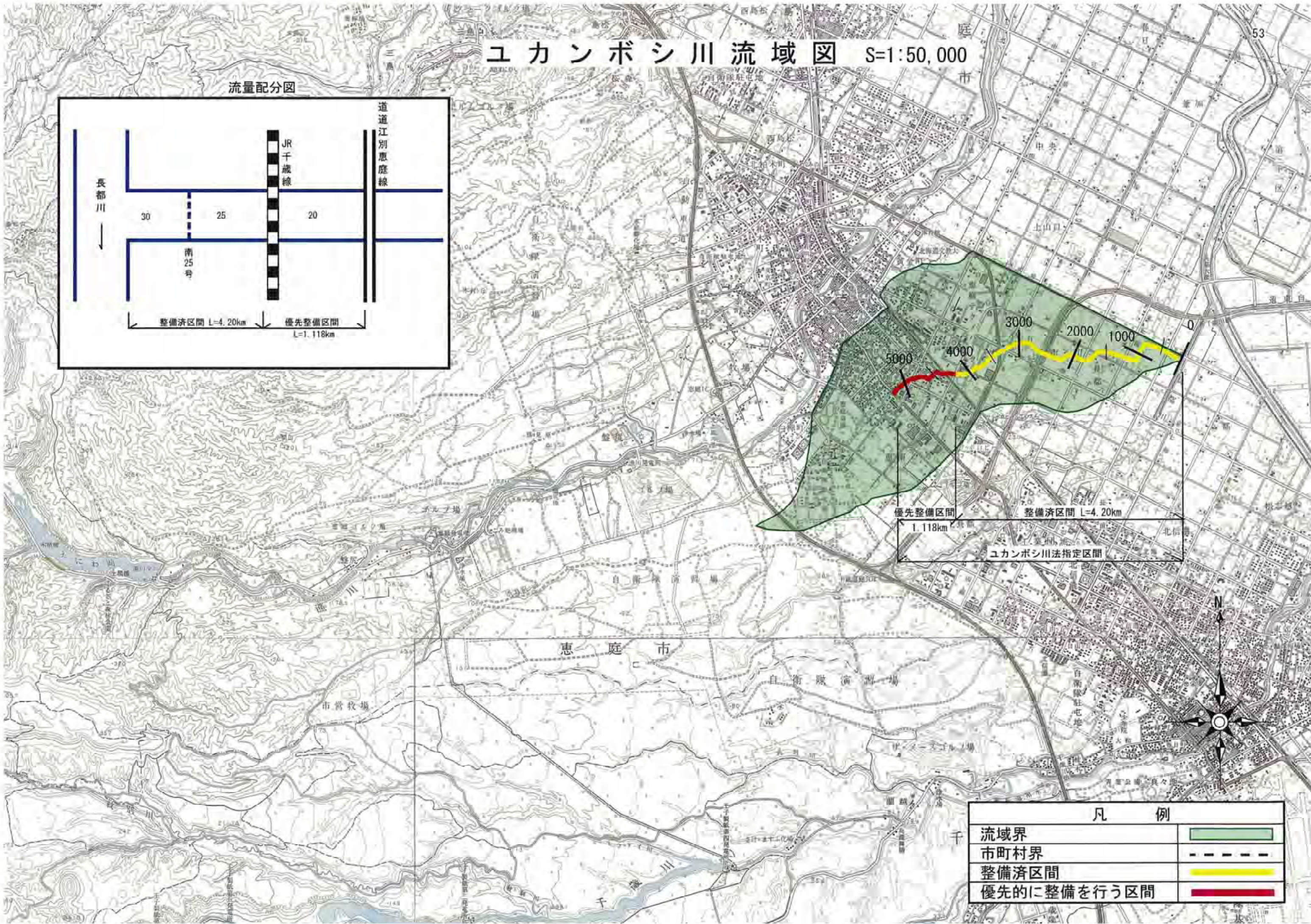
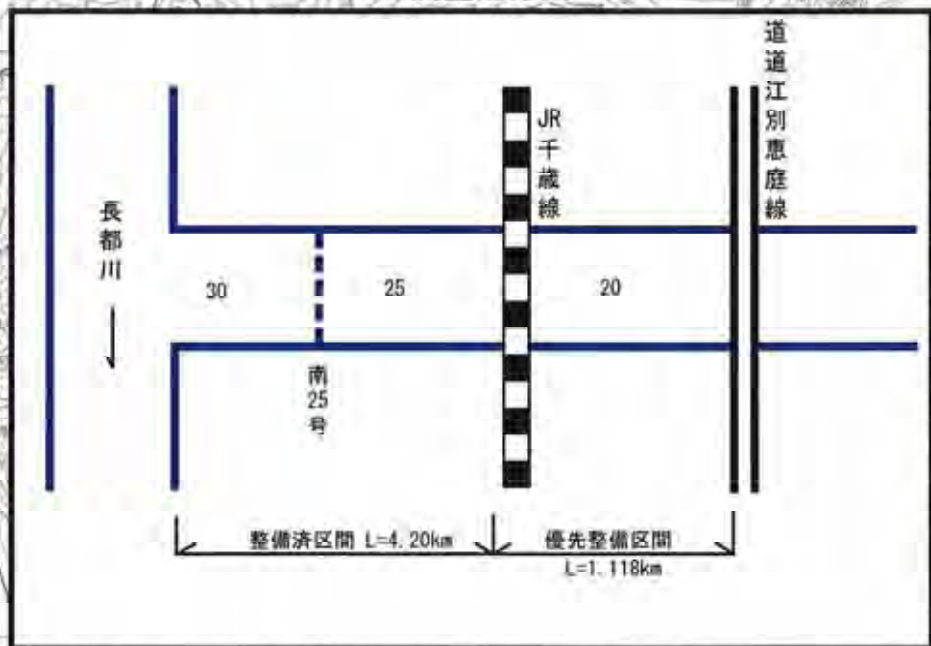
- ・ 河道掘削
- ・ 堤防の新設
- ・ 護岸



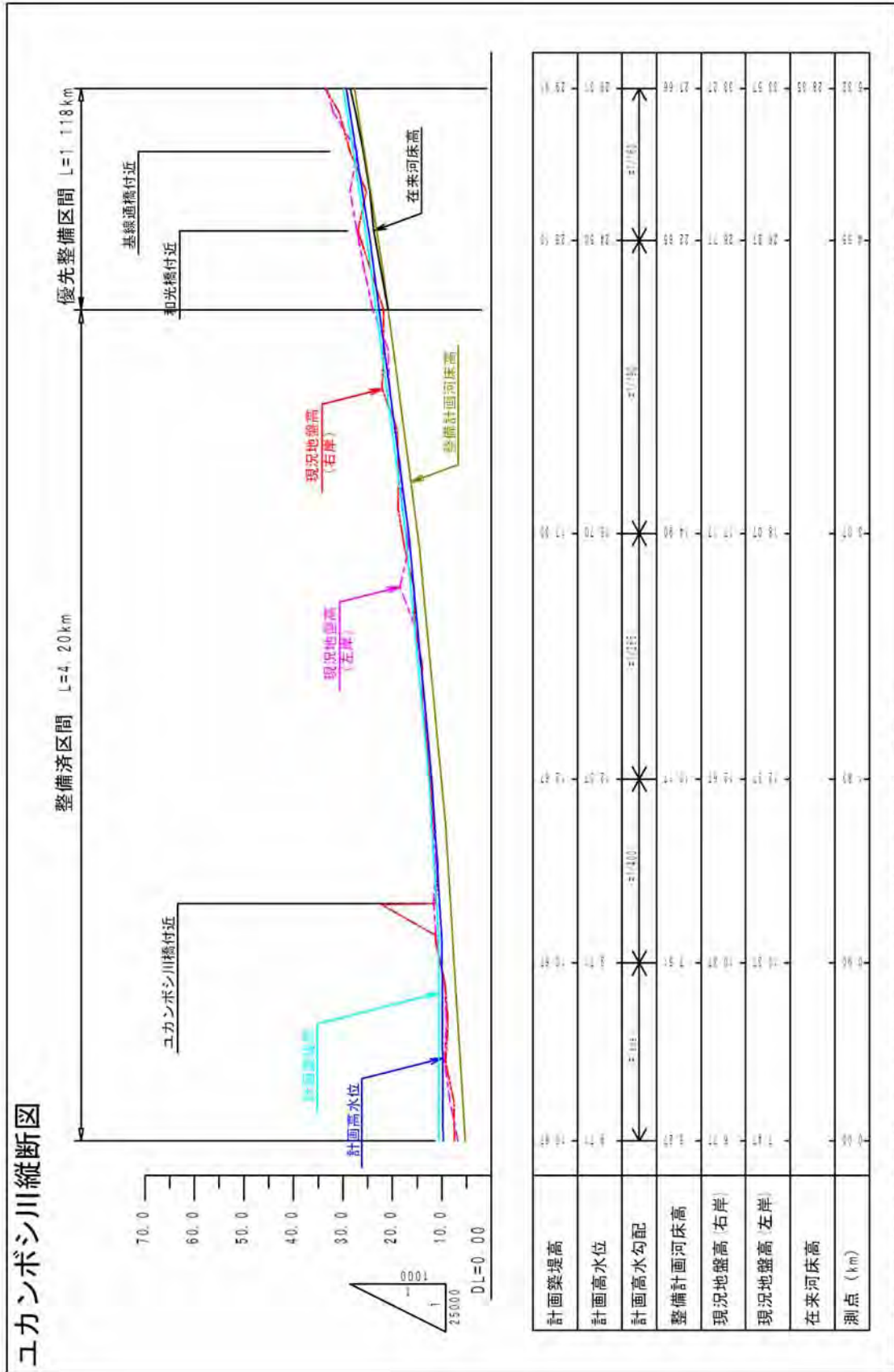
標準断面図における形状についてイメージを示したものである。

ユカンボシ川流域図 S=1:50,000





流量配分図



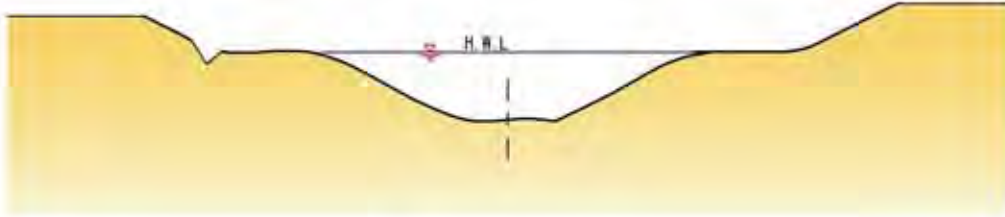
凡 例	
流域界	
市町村界	
整備済区間	
優先的に整備を行う区間	



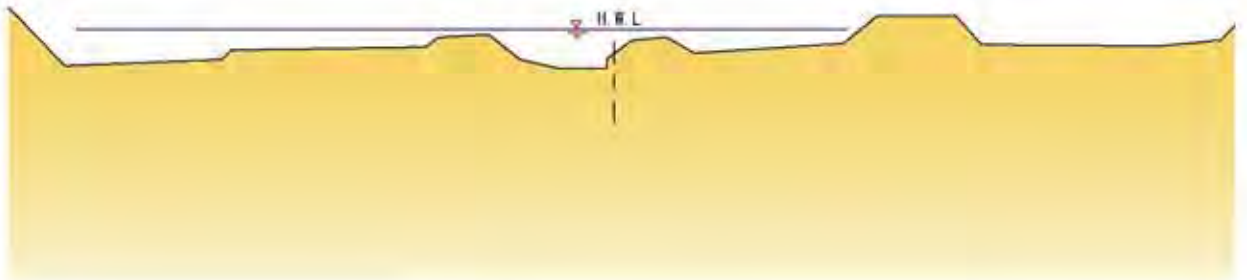
ユカンボシ川横断面図
縮尺 1:200

凡 例	
	掘削
	堤防整備
	実施断面
	現況断面

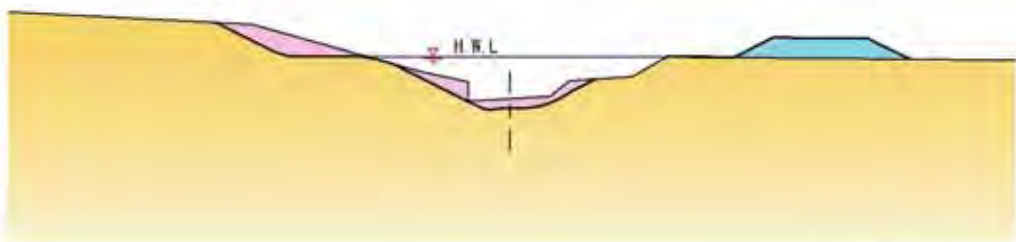
ユカンボシ川橋付近
長都川合流点から1.2km付近



和光橋付近
長都川合流点から4.6km付近



基線通橋付近
長都川合流点から5.0km付近



※ H.W.L. : 計画高水位

5. 筋違川

河川工事の目的

蛭翔橋上流から道道江別恵庭線上流までの区間において、下流河川の早苗別川の河道状況を踏まえ、沿川地域の市街地・農地への洪水被害の防止・軽減を目的として計画流量 $35\text{m}^3/\text{s}$ 規模の河川整備を進めます。

この河川工事を行う際には、現状が柵渠による単調な水路であることから、魚類(ドジョウなど)やヘイケボタルの生息に適した河川環境の再生に努めます。

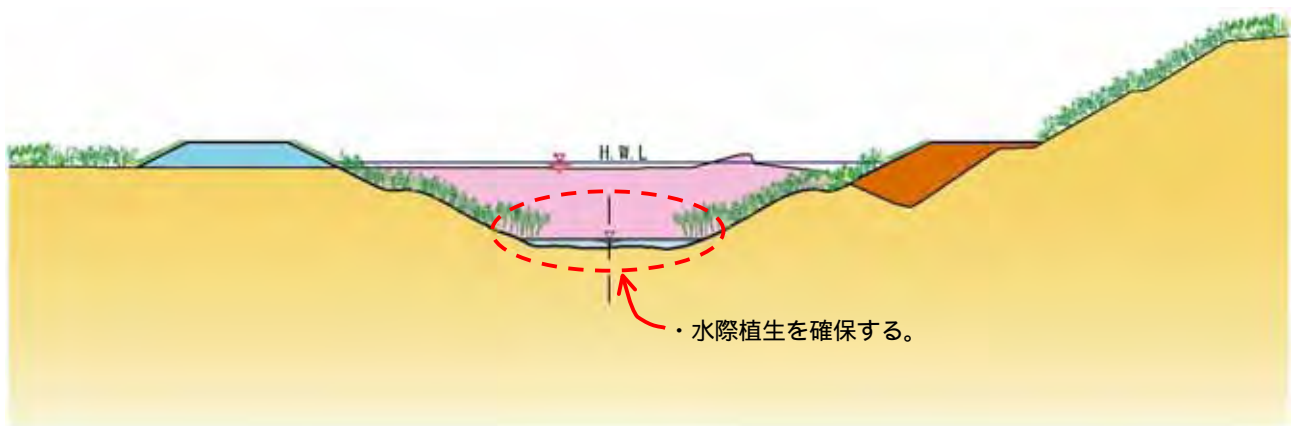
また整備を行うに当たり、必要に応じて関係機関と協議を行うこととします。

施行の場所

蛭翔橋上流から道道江別恵庭線上流までの 0.58km の区間

河川工事の種類

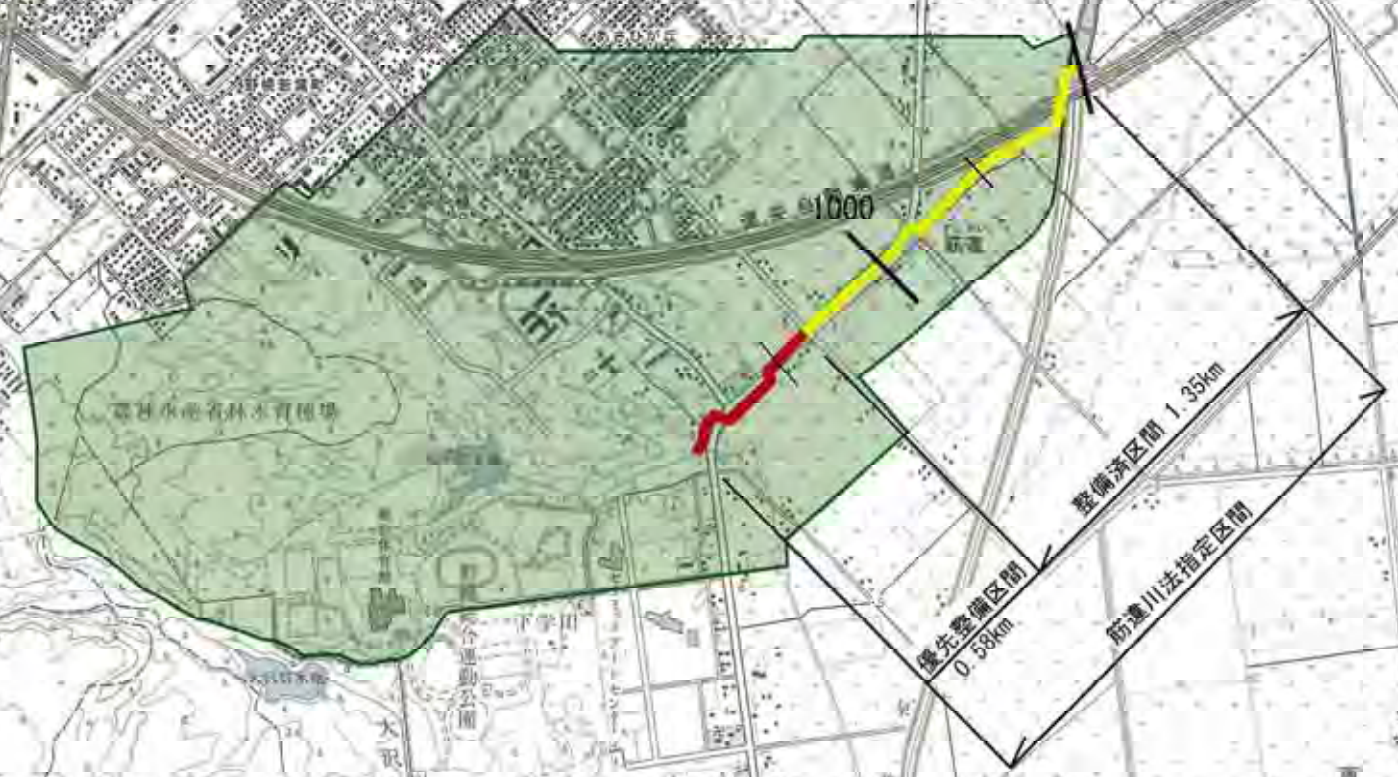
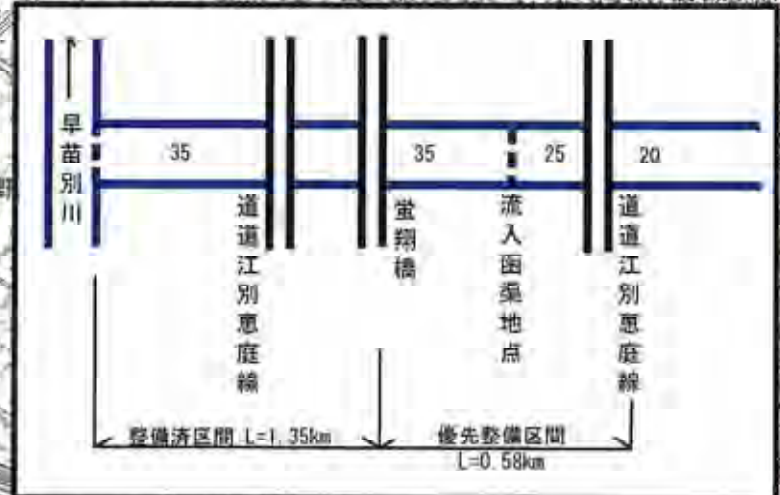
- ・ 河道掘削
- ・ 堤防の新設
- ・ 護岸



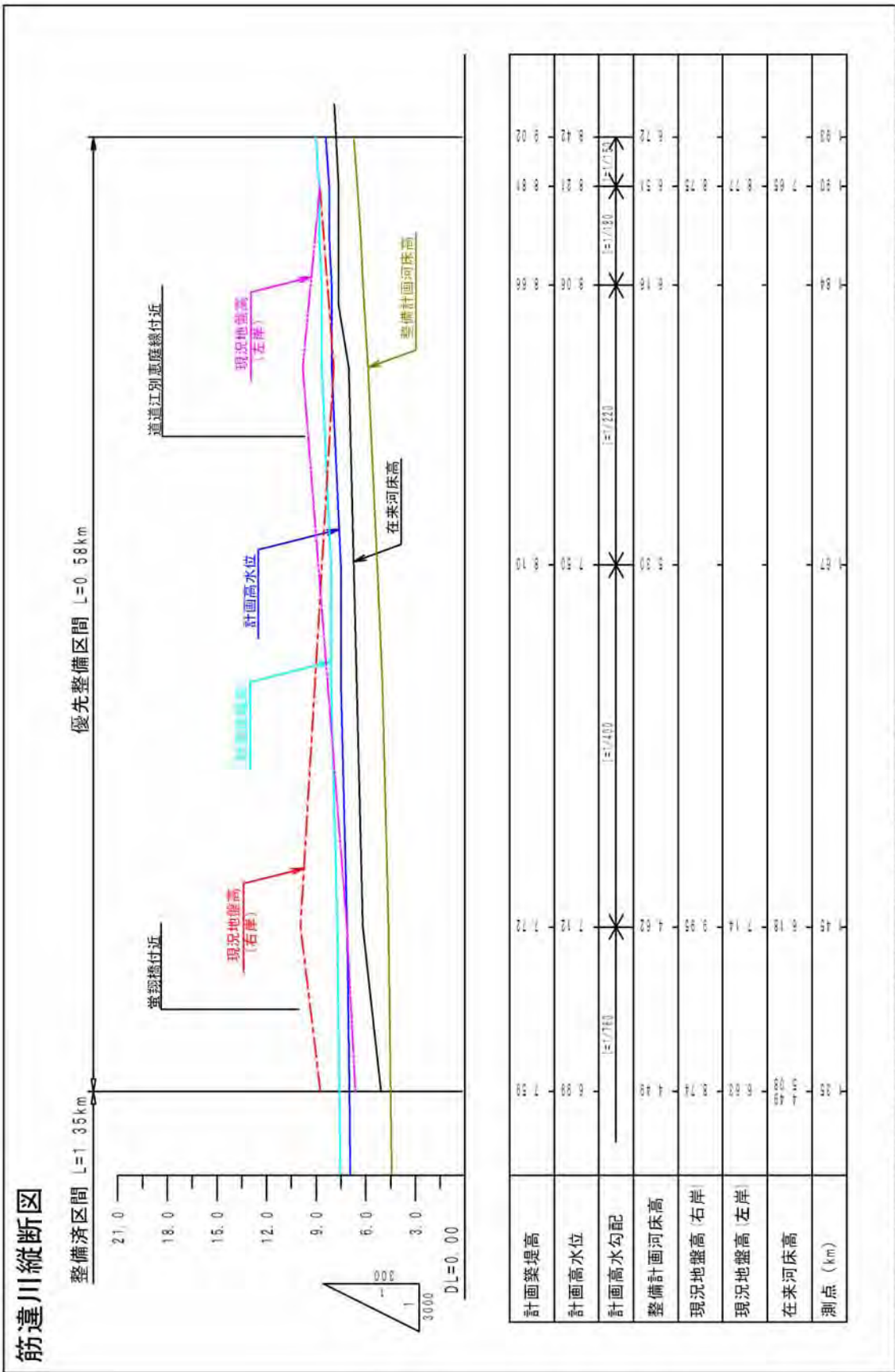
標準断面図における形状についてイメージを示したものである。

筋違川流域図 S=1:25,000






流量配分図



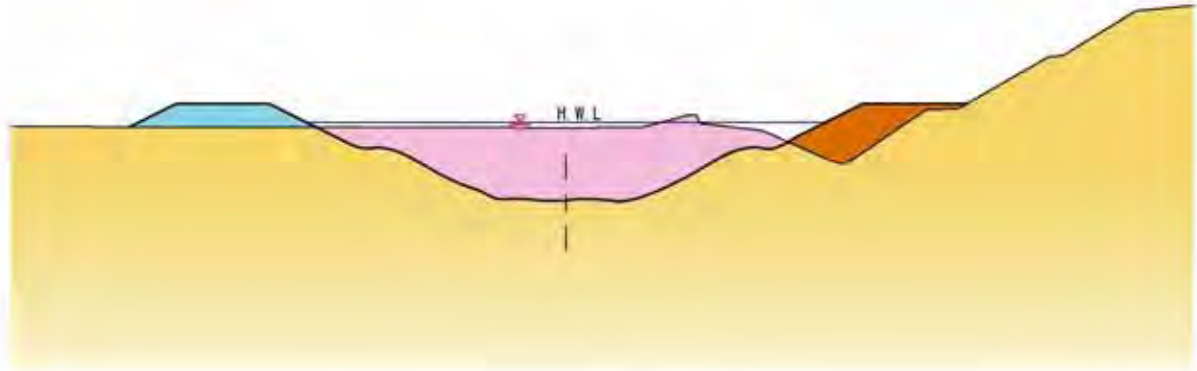
凡 例	
流域界	
市町村界	
整備済区間	
優先的に整備を行う区間	



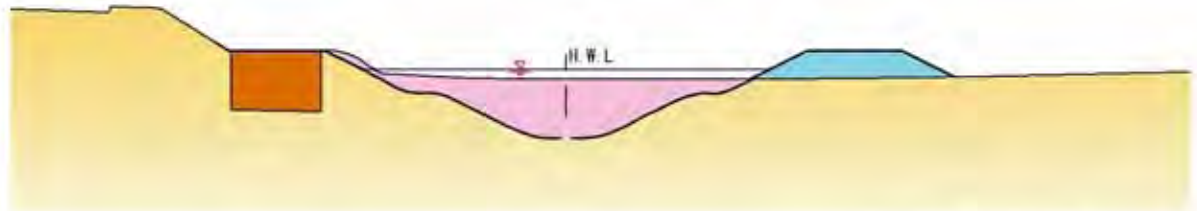
筋違川横断面
縮尺 1:200

凡 例	
	掘削
	堤防整備
	盛土・埋戻土
	実施断面
	現況断面

蛭形橋付近
早苗別川合流点から1.4km付近



道道江別恵庭線付近
早苗別川合流点から1.7km付近



※ H.W.L. : 計画高水位

6. 南六号川

河川工事の目的

千歳川合流点より 5.20km 上流地点から町道東 9 線上流までの区間において、千歳川の河道状況を踏まえ、沿川地域の農地への洪水被害の防止・軽減を目的として計画流量 25m³/s 規模の河川整備を進めます。

この河川工事を行う際には、河川沿いの河畔林及び魚類(エゾウグイなど)の生息環境の保全に努めます。

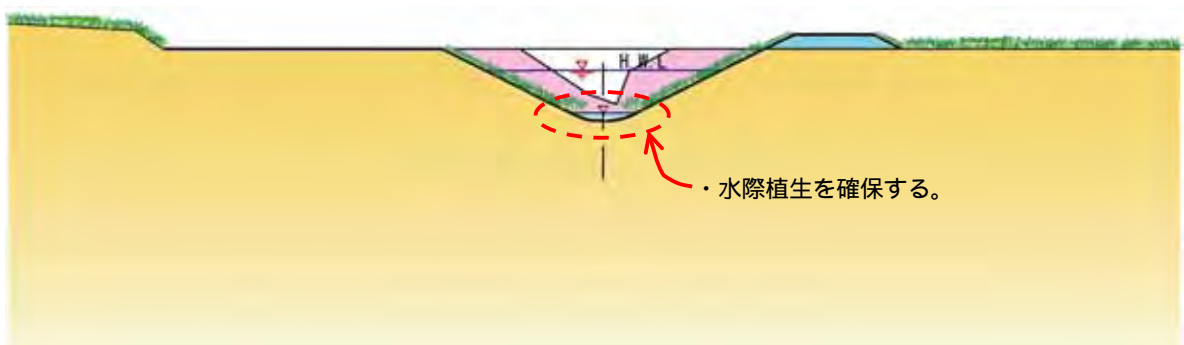
また整備を行うに当たり、必要に応じて関係機関と協議を行うこととします。

施行の場所

千歳川合流点上流より 5.20km 上流地点から町道東 9 線上流までの 3.07km の区間

河川工事の種類

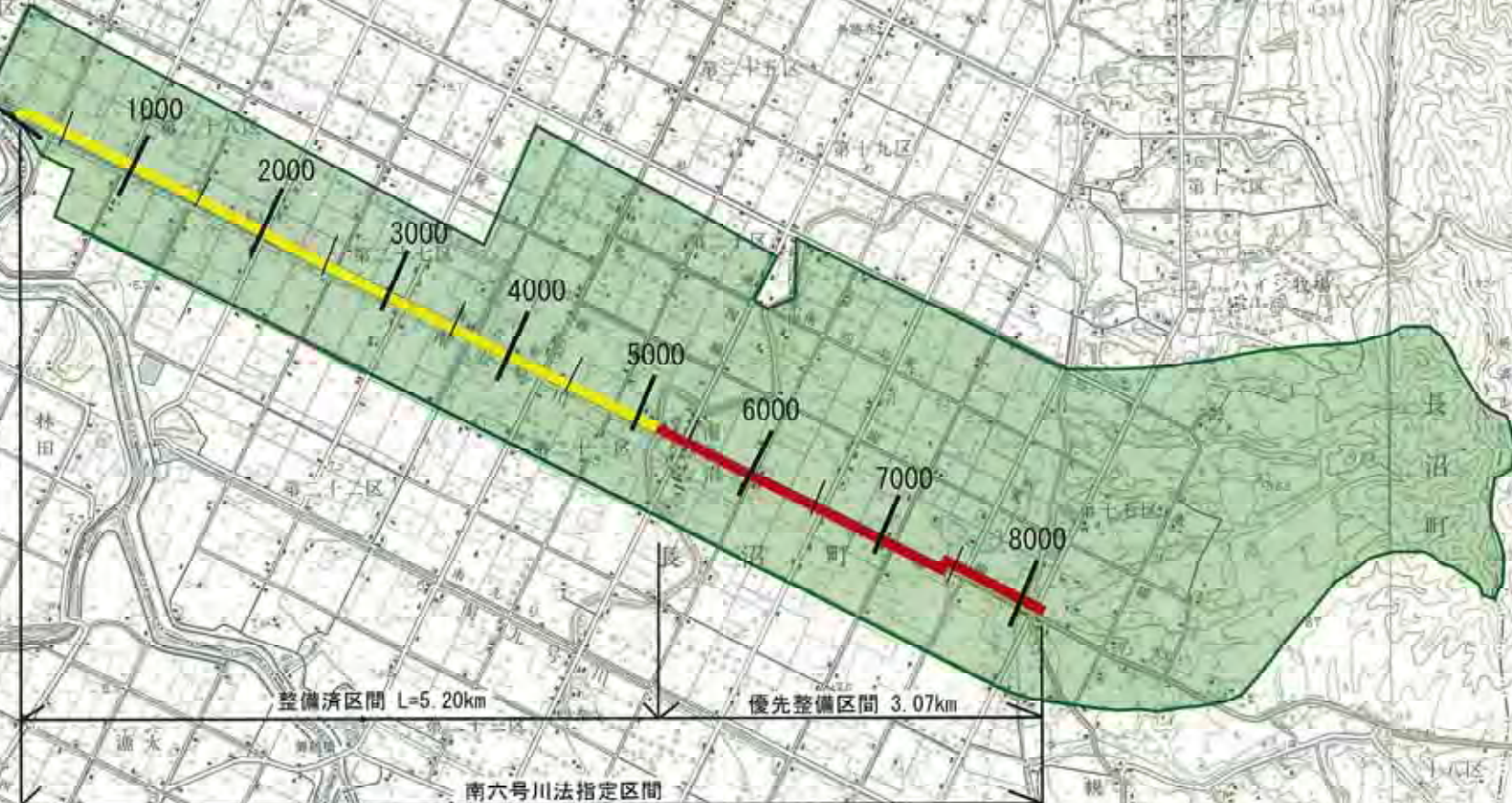
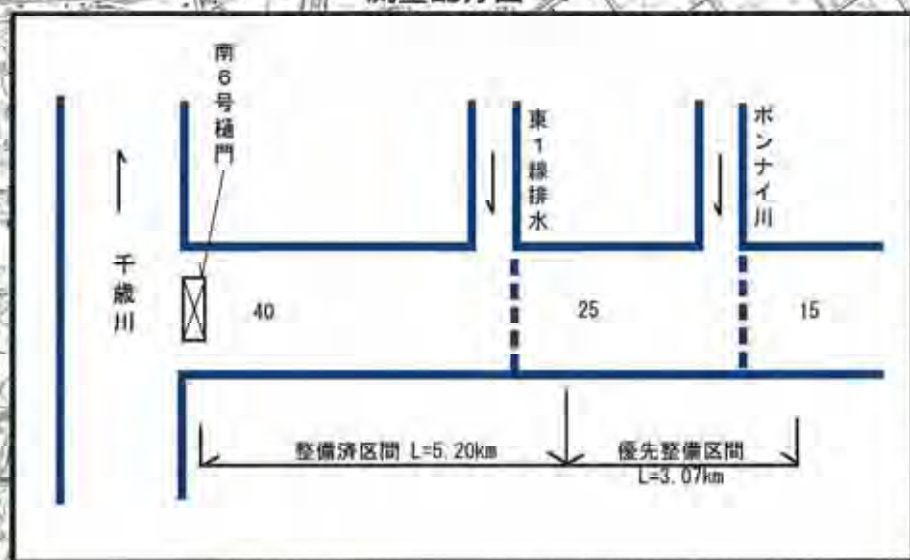
- ・ 河道掘削
- ・ 堤防の新設
- ・ 護岸



標準断面図における形状についてイメージを示したものである。

南六号川流域図 S=1:50,000

流量配分図

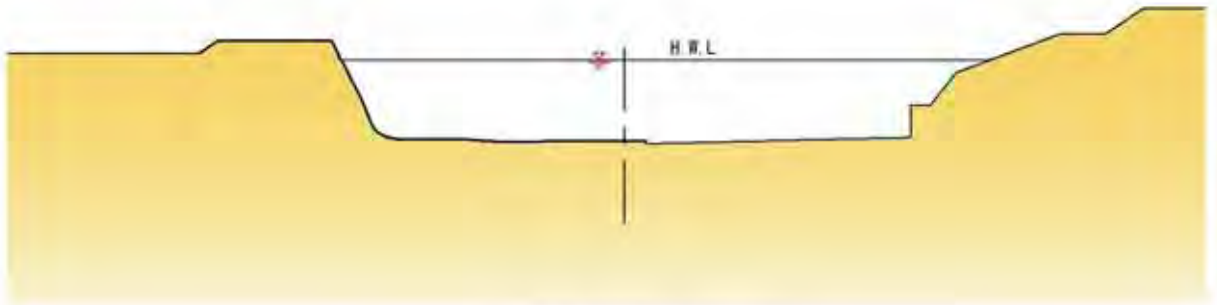


凡 例	
流域界	
市町村界	
整備済区間	
優先的に整備を行う区間	

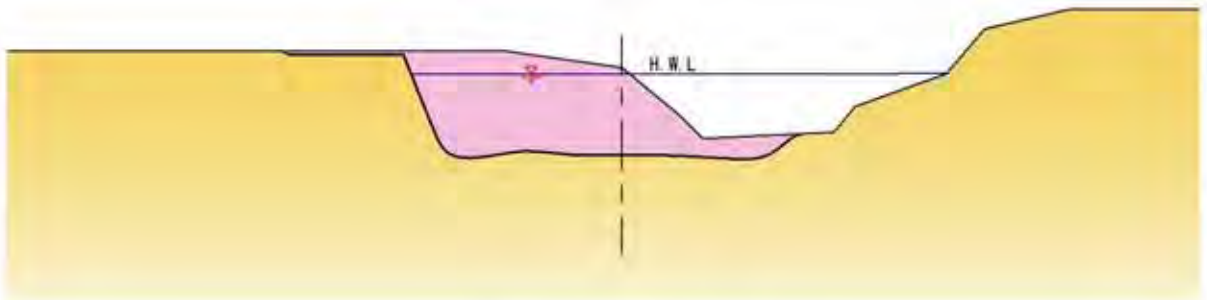
南六号川横断面
縮尺 1:200

凡 例	
	掘削
	堤防整備
	実施断面
	現況断面

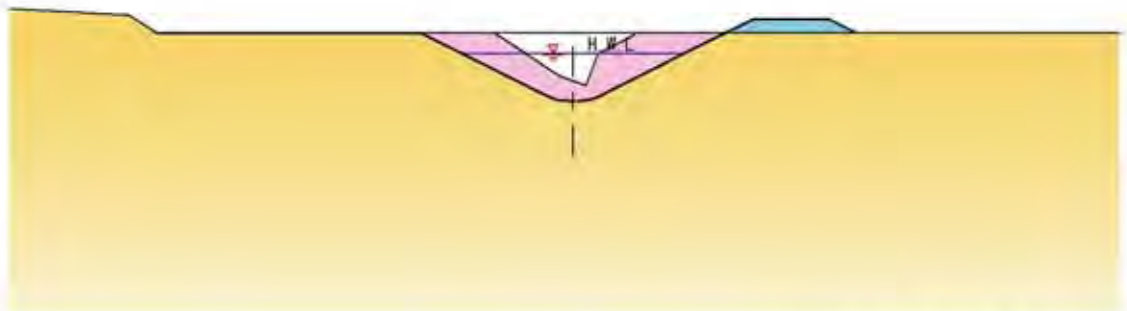
西南橋付近
直轄区間終点から3.3km付近



東5線南6号橋付近
直轄区間終点から5.9km付近



東9線南6号橋付近
直轄区間終点から8.0km付近



⑩ H.W.L. : 計画高水位

7. 南九号川

河川工事の目的

南九号川は千歳川合流点上流より 0.2km 上流地点から南 11 号排水路合流点付近まで、ウレロッチ川は南九号川合流点から東 9 線までにおいて、本川である千歳川の河道状況を踏まえ、沿川地域の農地への洪水被害の防止・軽減を目的として計画流量 20m³/s 規模の整備を進めます。

この河川工事を行う際には、飛来する野鳥及び生息している魚類(イバラトミヨなど)に配慮し、現存する水辺環境の保全に努めます。

また整備を行うに当たり、必要に応じて関係機関と協議を行うこととします。

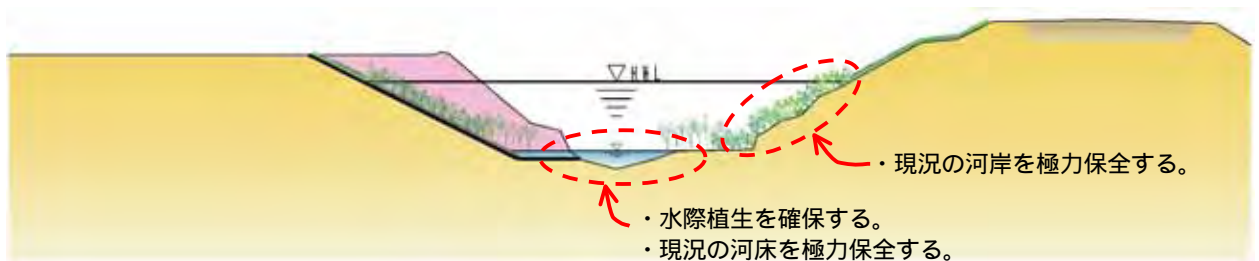
施行の場所

南九号川 : 千歳川合流点上流より 0.20km 上流地点から南 11 号排水路合流点付近までの約 6km の区間

ウレロッチ川 : 南九号川合流点から町道東 9 線までの 1.8 km の区間

河川工事の種類

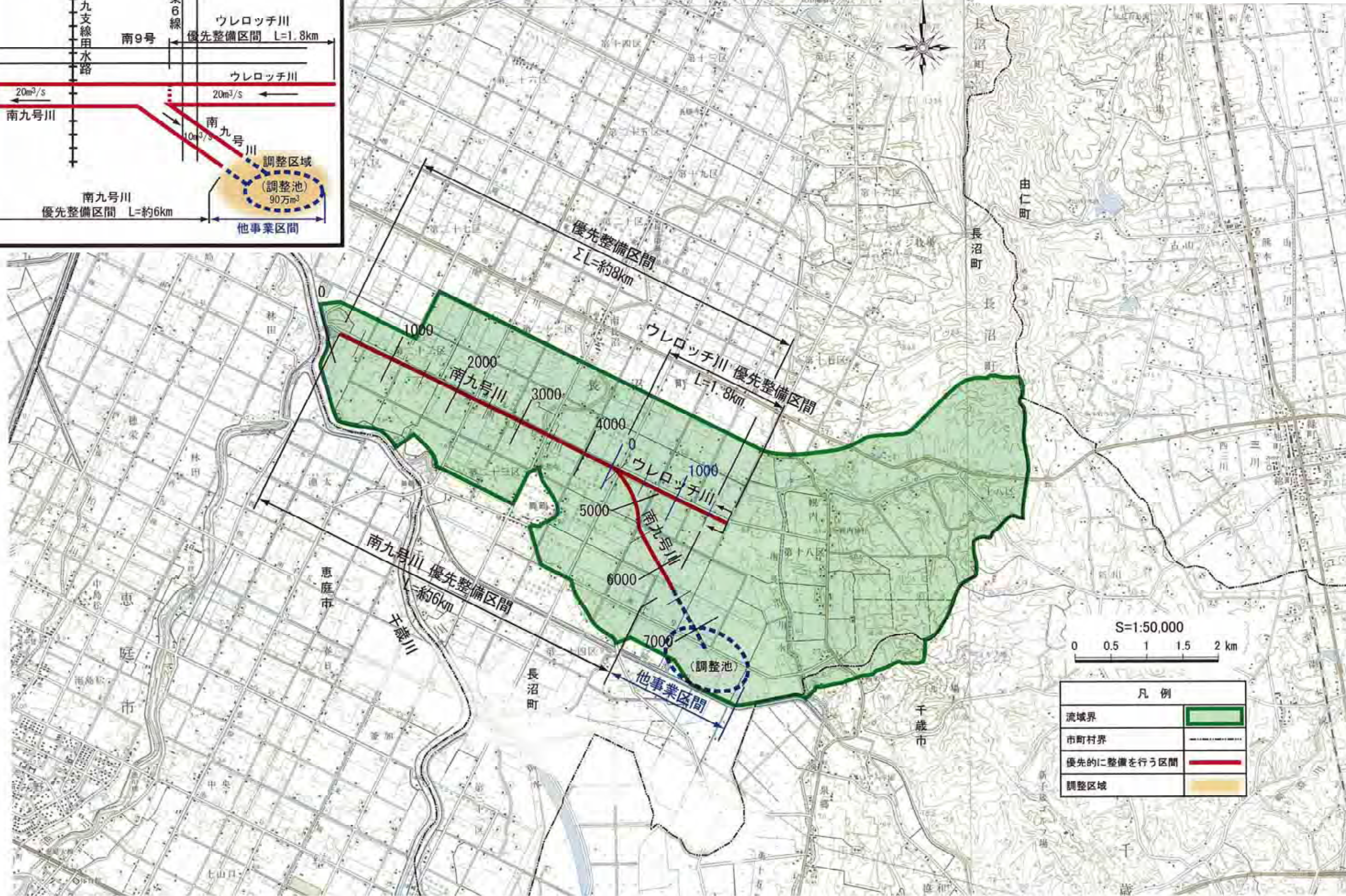
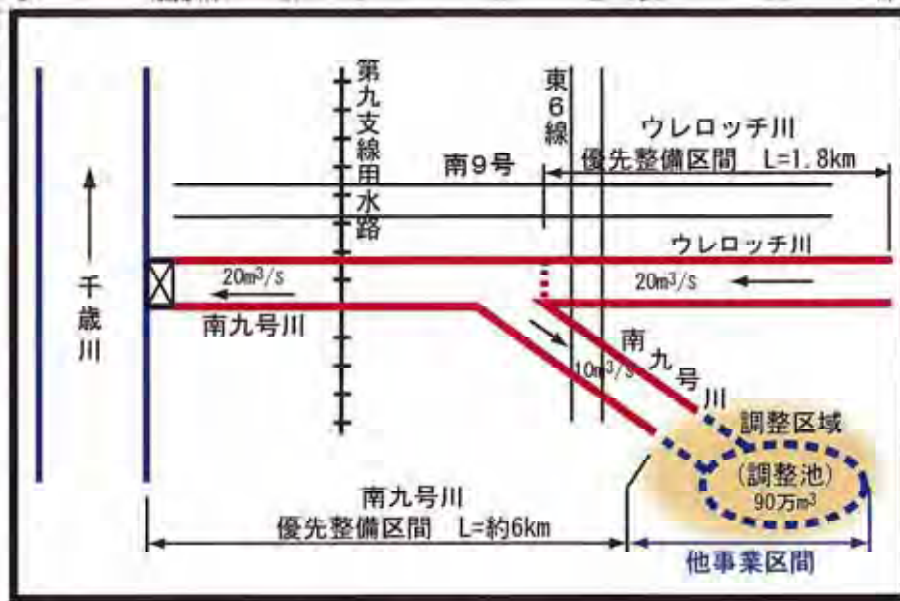
- ・ 河道掘削
- ・ 堤防の新設
- ・ 法面保護工



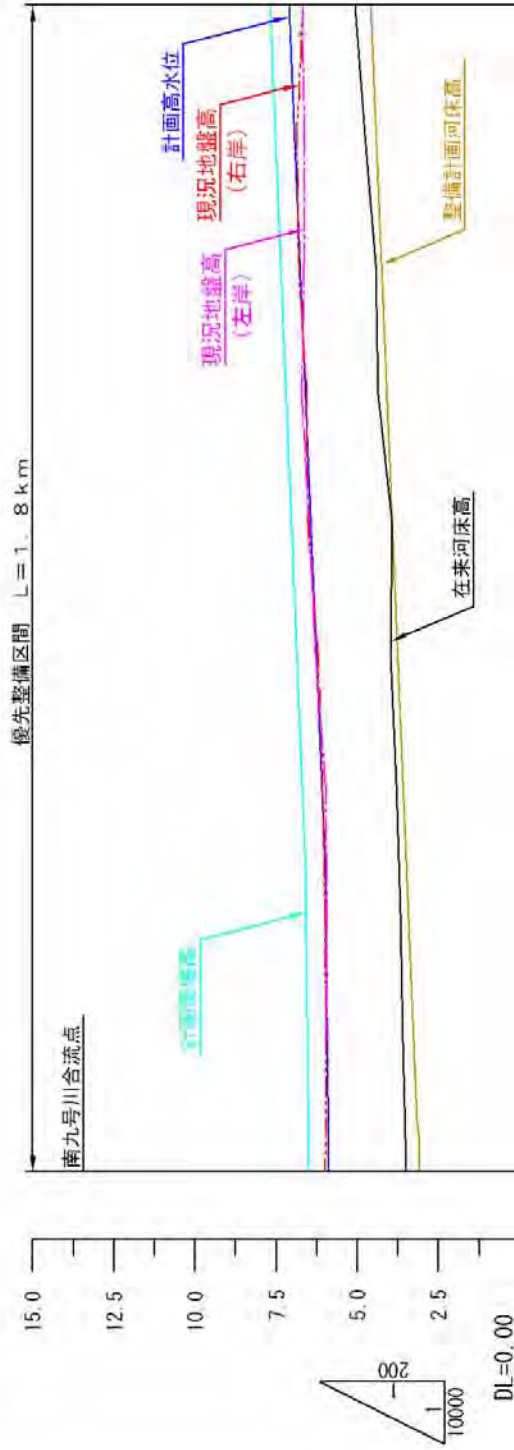
標準断面図における形状についてイメージを示したものである。

南九号川流域図 S=1:50,000

流量配分図



ウレロツチ川縦断面図







計画築堤高	5.90	5.94	5.94	5.98	6.58	6.40	6.60	6.70	6.87	7.03	7.20	7.37	7.53	7.70	7.80
計画高水位	5.90	5.94	5.94	5.98	6.58	6.40	6.60	6.70	6.87	7.03	7.20	7.37	7.53	7.70	7.80
計画高水勾配	3.10	3.27	3.27	3.43	3.43	3.43	3.50	3.60	3.77	3.93	4.10	4.27	4.43	4.60	4.80
整備計画河床高	5.99	5.99	5.99	5.99	6.00	6.00	6.06	6.10	6.22	6.32	6.56	6.81	7.02	7.23	7.43
現況地盤高 (右岸)	5.99	5.99	5.99	5.99	6.00	6.00	6.06	6.10	6.22	6.32	6.56	6.81	7.02	7.23	7.43
現況地盤高 (左岸)	5.99	5.99	5.99	5.99	6.00	6.00	6.06	6.10	6.22	6.32	6.56	6.81	7.02	7.23	7.43
在来河床高	5.99	5.99	5.99	5.99	6.00	6.00	6.06	6.10	6.22	6.32	6.56	6.81	7.02	7.23	7.43
測点 (km)	0.00	0.20	0.40	0.60	0.80	1.00	1.20	1.40	1.60	1.80	2.00	2.20	2.40	2.60	2.80

i=1/5250 i=1/1200

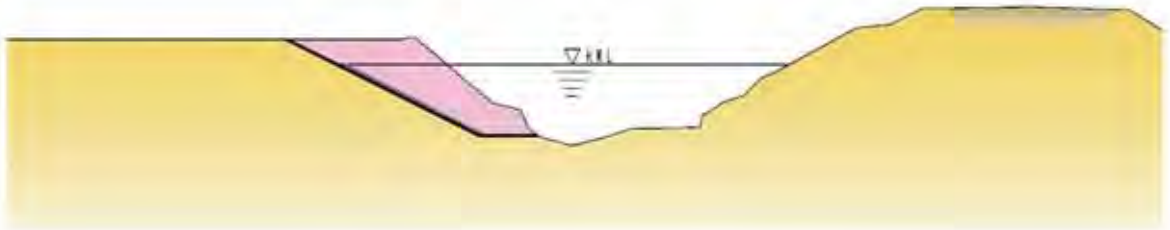
* 整備計画河床高: 整備計画における河川工事や施設の維持管理を行う際の参考値

* 標高値: 測地2000対応(世界測地系)

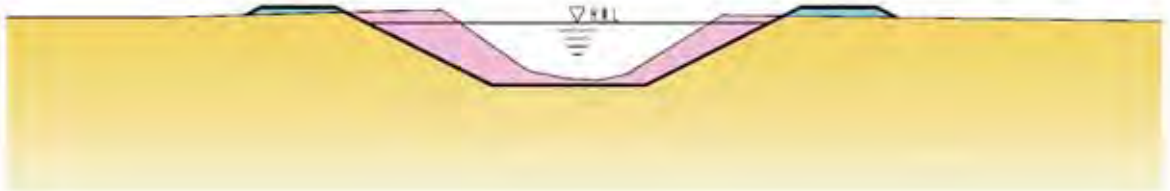
南九号川横断図
縮尺 1:250

凡 例	
	掘削
	堤防整備
	実施断面
	現況断面

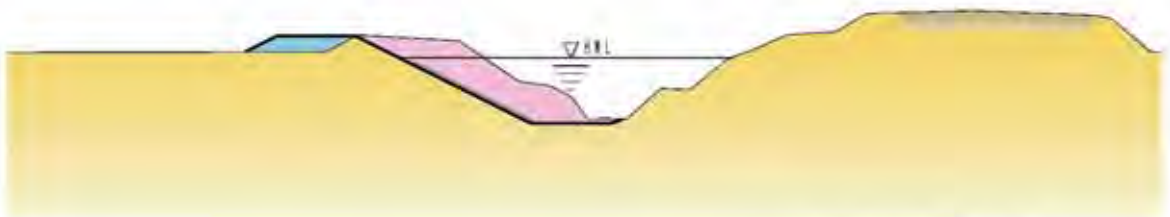
南九号川 下流区間 (SP750付近)



南九号川 上流区間 (SP5600付近)



ウレロッチ川 (SP1400付近)



※ H.W.L.: 計画高水位

第2節 河川の維持の目的、種類及び施行の場所

1. 河川の維持の目的

河川の維持管理は、地域の特徴を踏まえつつ、洪水による災害発生の防止および軽減、河川の適正な利用、流水の正常な機能維持、河川環境の整備と保全等を目的とし、総合的な観点から適切な実施に努めるものとします。

特に、堤防を始め、樋管などの排水施設や遊水地などの貯留施設などの河川管理施設については、常に良好な状態に保持しその機能を確保するよう維持補修を行っていきます。

また、必要に応じて、河川及び河川周辺の環境調査を行い、河川改修後の環境に対する影響を検証し、状況により河川環境を考慮した維持補修を行っていくとともに、河川愛護団体や住民による河川愛護活動を支援し、住民参加による良好な河川環境の保全に努めます。

2. 河川の維持の種類及び施行の場所

土砂の異常堆積や立木などが治水上の支障となる場合は、環境にも配慮しつつ堆積土の除去、立木の伐採、草刈など必要な対策を講じます。

なお、これらの河川の維持を行うにあたっては、必要に応じて学識経験者や地域住民、関係機関などの意見などを踏まえ、魚類や鳥類の生息に配慮して計画的な実施を行います。

堤防や護岸の亀裂や河床低下による各種河川構造物基礎の破壊などの支障を早期に発見するために、定期的なパトロールを行うとともに、河川管理上支障となる場合は速やかに適切な処置を行います。

第4章 河川情報の提供、地域や関係機関との連携等に関する事項

第1節 河川情報の提供の促進

雨量、水位情報をインターネットや携帯端末等により地域住民や関係機関に提供し、警戒避難、水防活動など必要な対策の支援等を行います。

また、河川事業の紹介などの情報提供や環境教育の場の提供などにより、河川事業に対して広く理解を得られるように努めます。

第2節 地域や関係機関との連携

当該圏域の治水対策は、各河川の河道整備のみではなく、千歳川流域の視点に立った総合的な治水対策が必要です。これらの治水対策は、地元関係者、国及び関係自治体により各種委員会や協議会などにより、流域整備計画を策定するなどの検討が進められてきております。現在は、「千歳川流域治水対策協議会」において、流域対策及び内水対策などの検討が進められています。これらの協議会及び関係機関との連携により、保水・遊水機能の保全、水害に強い土地利用、防災体制の強化など、千歳川流域としての治水対策を進めます。

第3節 河川にかかる調査・研究などの推進

水文観測を継続的に進める他、河川及び河川周辺の環境調査などを行い、データの収集に努め、河川改修後の環境への影響について、調査・研究を関係機関の協力を得ながら継続して実施していきます。